

## 11 評価について

忘れ物をした回数や、完成した作品の出来映えだけで評価していいのですか？



数や量，結果だけの評価ではなく，学びの質を取組の過程から評価することが大切です。



### (1) 「学力の三つの要素」との関連

- 図画工作科の「造形への関心・意欲・態度」，美術科の「美術への関心・意欲・態度」は，主に学力の三つの要素の「主体的に学習に取り組む態度」に対応しています。
- 「発想や構想の能力」は，主に学力の三つの要素の「思考力・判断力・表現力」に対応しています。
- 「創造的な技能」は，主に学力の三つの要素の「基礎的・基本的な知識・技能」に対応しています。
- 「鑑賞の能力」は，「知識・理解」の点では，主に学力の三つの要素の「基礎的・基本的な知識・技能」に，子どもが考えたり判断したりする点では，主に学力の三つの要素の「思考力・判断力・表現力」にも対応しています。

### (2) 観点の趣旨について

#### 【造形への関心・意欲・態度】の趣旨

自分の思いをもち，進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わおうとする。…小学校

#### 【美術への関心・意欲・態度】の趣旨

美術の創造活動の喜びを味わい，主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。…中学校

黙々と静かに取り組んでいることが，関心・意欲・態度なのですか？



つぶやきながら夢中になって取り組んだり，友達の作品を鑑賞したりすることもあります。



「造形への関心・意欲・態度」(小)「美術への関心・意欲・態度」(中)は，自分の思いを持って，進んで表現や鑑賞の活動に取り組むことやその過程や結果においてつくりだす喜びを味わっている子どもの姿を評価する観点です。「造形(美術)への関心・意欲・態度」は，それ自体を取り出して捉えるというよりも「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」と関わり合って把握することが重要です。学習活動の特性や題材の関連などを考慮しながらどのような姿を子どもの主体的な姿と捉え，どのような方法で評価するかを明確にする必要があります。

### 【発想や構想の能力】の趣旨

感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり，形や色，用途などを考えたりしている。…小学校

感性や想像力を働かせて豊かに発想し，よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。…中学校

「形や色，材料，用途などを基に，自分の表したいことを思い付いたり，いろいろ考えながら表現に見通しを持ったりしている子どもの姿を評価する視点です。

設定する題材の，どの場面で，どのような方法で評価するのかを明確にする必要があります。

また，基本的には，製（制）作の過程や完成した作品，アイデアスケッチなど造形的に表現されたものや子どもの姿から読み取ることになります。しかし，技能が伴わない子どももいるため，表現意図を書いたワークシートや感想文と作品を照らし合わせて評価をするなどの工夫も必要です。



隣のクラスの図工作品は，とても〇年生とは思えない構図の作品が，ずらりとならんでいて，うらやましい。でも…？

作品のモチーフ，手順，構図などを詳しく指示しているから，みんな同じような作品ができている。それでよいのかな？



子どもの発達の段階を押さえるとともに，子どもに指示を多く出し，子どもの表現したいことや発想をせばめてしまわないように心掛け，評価しましょう。評価が教師で変わることのないように，教員同士の共通理解を図ることも大切です。

子どもが表現したいことを子どもの思いで構想していくことのできる授業づくりをし，評価することが大切です。



【創造的な技能】の趣旨

感覚や経験を生かしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。…小学校

感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。…中学校

自分の表したいことに応じて、感覚や経験を生かしながら材料や用具を用いたり、表し方を工夫したりしている子どもの姿を評価する視点です。

「創造的な技能」の観点は、小学校では、A表現(1)「造形遊び」と(2)「絵や立体、工作」の事項ウに、中学校では、A表現(3)に対応しています。発想や構想したことを材料や用具などを活用し、創意工夫しながら具体的な作品に表現していく力です。

このことを踏まえながら、子どもが発揮している「創造的な技能」と題材で用いる材料や用具、あるいは表現方法などとの関連を明確にしましょう。

「創造的な技能」ですから、単に材料や用具を使う力ではありません。

写真やモチーフを正確に写しとることだけについて評価していますが、いいのでしょうか？

技能を評価するために、釘を正確に打ち込むことができるのか、テストしてみようかな…？

子どもの表現したいことを、子ども自身が工夫し、創造的に表していることを評価しましょう。教師の描かせたいものやつくらせたいものを、子どもの手を借りて製(制)作させてしまっていないか、再考しましょう。

単に技能ではなく、創造的な技能です。例えば、曲がった釘をあえて生かして表現する姿、釘の長さの違いを生かして表現する姿などもあります。子どもの創意工夫を見取りましょう。



### 【鑑賞の能力】の趣旨

作品などの形や色などから、表現の面白さを捉えたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。…小学校

感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。…中学校

美術作品や自他の作品などの形や色などから表現の面白さを感じたり、よさを把握したりしている子どもの姿を評価する観点です。

「鑑賞の能力」については、子どもが自分の作品を見つめている場面や美術作品の前で語り合っている場面などで、子ども自身が何を美しいと感じ、何をよいと考えているのかを具体的に捉える必要があります。

その際、〔共通事項〕で示した形や色、イメージなどが有効な手掛かりとなります。例えば、〔共通事項〕の視点からワークシートや発問などを具体化することができます。

鑑賞の学習活動は、言語を用いて行われることが一般的です。そのため文章力に評価が影響されないように、キーワードになっている言葉を見ていくなどの工夫が必要です。

### (3) 〔共通事項〕との関連

〔共通事項〕は、「A表現」「B鑑賞」の指導を通して、二つの事項を指導することとしています。評価においても単独で行うのではなく、「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の中に含めて、評価することになります。

観点の趣旨の中にある「感性や創造力を働かせて」が〔共通事項〕アイの事項の内容と関連しています。

例えば、発想や構想の場面で「感性や想像力」を働かせて、形や色彩から温かさや優しさを感じ取ったり、対象の全体的なイメージを捉えたりして〔共通事項〕を十分に意識しながら発想や構想をすることにより、「発想や構想の能力」が豊かに育成されることになるため、〔共通事項〕を意識して評価する必要があります。

#### その他①（評価規準の語尾）

「味わおうとしている」「思い付いている」「考えている」「使っている」「工夫している」「気付いている」「捉えている」「感じている」など、題材全体の評価規準、1時間ごと(時間続きの場合もあります。)の評価規準の語尾は、「～している」になります。作品づくりの過程などを含めて評価するという意味が込められています。

#### その他②（評価の負担軽減）

評価が負担となり、子どもたちに笑顔で接したり、適切な支援をしたりすることができなくなってしまっては本末転倒です。評価において何が大きかを見極めて分かりやすく簡素にすることも解決の手だての一つです。また、一人の教師で抱え込まず、校内や地域で計画的、組織的に取り組むことも大切です。

